

ぐるり30

～自治調査会だより～

2019
7

No. 070

[発行日]
2019.7.1



【写真提供】三宅島観光協会 【撮影場所】三宅島 伊豆岬

- ▶シンポジウム開催のお知らせ
持続可能なまちづくりを考える ～地方創生×結婚支援～…………… 2
- ▶2018年度 調査研究報告書の紹介
「基礎自治体における多文化共生施策に関する調査研究」…………… 3
- ▶オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介…………… 4
清瀬市 きよせの環境・川まつり
東久留米市 小山茶園サポーターズクラブ事業
御蔵島村 御蔵島小中学校校庭芝生再生事業
- ▶とっておきの島しょの土産 ～三宅島～ ……………… 5
- ▶多摩交流センターだより
・多摩発・遠隔生涯学習講座7・8月開催予定の講座案内…………… 6
・東京雑学大学8月講義案内…………… 6
・TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ…………… 7
- ▶編集後記…………… 7
- ▶とっておきフォトスポット ～三宅村～…………… 8

Contents

7月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

シンポジウム開催のお知らせ

持続可能なまちづくりを考える

地方創生 × 結婚支援

参加
無料

主催: (公財) 東京市町村自治調査会 (2019年度調査研究結果発表シンポジウム)

日 時

2019年
7月22日(月)
13:30~17:30 (12:30受付開始)

会場案内

府中市市民活動センタープラッツ
バルトホール

府中市宮町1丁目100 ル・シーニュ5F

アクセス

京王線 府中駅南口から徒歩1分(駅直結)
JR線 南武線、武蔵野線 府中本町駅から徒歩10分
(有料駐車場・有料駐輪場あり)



参加申込み方法(先着80名)

※事前申込み人数により当日参加可

【WEB】<https://secure.try-sky.com/kehasympo/>

【FAX・郵送】「参加申込用紙」の内容をご記入の上、下記事務局まで。

【お申込み締切日】7月12日(金)必着

※先着順に「参加証」をお送りします(1週間程度で発送)。当日ご提示ください。

※多摩・島しょ地域自治体職員の方は、各自自治体研修担当を通じてお申込みください。

プログラム ※手話通訳・要約筆記あり

- 基調講演
「持続可能な地域社会づくりとしての結婚支援～地域活性化の観点から～」
渥美 由喜 内閣府地域働き方改革推進会議委員(東レ経営研究所 兼務)
- 調査研究結果発表
「結婚支援を糸口とした少子化対策及び地域活性化に関する調査研究結果」
鬼頭 敦子 (公財)東京市町村自治調査会 調査部 研究員
- パネルディスカッション
コーディネーター
渥美 由喜 内閣府地域働き方改革推進会議委員(東レ経営研究所 兼務)

第1部 行政が取り組む結婚支援

「あらたまの取組～広域連携×結婚支援～」

自治体施策や課題と結婚支援を結び付け、広域で連携・実施している手法を中心に紹介する

亀崎 清貴 有明広域行政事務組合 総務課企画係 係長

「狭山市の取組～産学官連携×結婚支援～」

シビックプライドの醸成を目的とし、地元の大学や事業者を巻き込み市庁舎で実施した「届け出挙式」を中心に紹介する

吉田 利昭 狭山市総合政策部 広報課 シティプロモーション推進室 室長

第2部 民間団体が取り組む結婚支援

「ツヴァイの取組～地域活性化×結婚支援～」

地域の魅力・特色やライフデザインを事前に考えることで移住・定住に繋げる取組の工夫を中心に紹介する

飯塚 公彦 (株)ツヴァイイベント事業部 ライフデザイングループ マネージャー

「婚活deハケ岳推進委員会の取組～地縁づくり×結婚支援～」

地域のファンを増やすことをコンセプトとし、参加者の成功体験を重視したイベントの工夫を中心に紹介する

五味 愛美 婚活deハケ岳推進委員会

○名刺交換会

登壇者及び参加者による名刺交換、情報交換会

参加申込用紙

※下記の項目についてご記入ください。*印は記入必須項目です。

※代表者宛に「参加証」をお送りします。異なる住所への送付をご希望される場合は、別途お申込みください。

代表者氏名(ふりがな)*	住所* 〒	TEL*
		FAX
お申込み人数*	人	E-mail

【参加申込・お問合せ】「2019年度調査研究結果発表シンポジウム」事務局(株式会社ライ内 10:00~18:00 土日・祝日を除く)

〒113-0021 東京都文京区本駒込3-9-3 TEL:03-3824-7231 FAX:03-3824-7250

2018年度 調査研究報告書の紹介

本紙5月号(No.68)で概要を紹介した2018年度の調査研究報告書のうち、5件の調査研究報告書について、隔月で詳細を紹介していきます。今号では、「基礎自治体における多文化共生施策に関する調査研究」を紹介します。

基礎自治体における多文化共生施策に関する調査研究

1. 背景・目的

本調査研究は、2017年度に実施した「多文化共生に向けた地域における国際交流に関する調査研究」の内容を掘り下げた2年目調査です。

1年目調査では、今後、在住及び在勤、訪日外国人が増加すると見込まれる多摩・島しょ地域にとって、多文化共生の取組は持続可能な地域づくりに向けた必要不可欠な取組であると提言しました。

2年目調査では、出入国管理・難民認定法改正による外国人受入れ拡大の動きを捉え、「改めて多文化共生の必要性について時勢を踏まえながら示した上で、分野や地域別に優先順位の高い取組について提言することで、多摩・島しょ地域自治体における持続可能な地域づくりに資すること」を目的に実施しました。そのため、本調査研究では、不足する地域の担い手を補い、持続可能な地域の形成につなげるため、「外国人住民が地域の担い手になるために必要な取組」を重視しています。



2. 多摩・島しょ地域自治体アンケート調査結果

- 「防災」、「福祉」（「高齢者福祉」・「子育て支援」）、「留学生」の分野に絞り調査を実施。
- 外国人施策は全般的に進んでおらず、今後も取組予定がない自治体が半数以上。
- 分野ごとの取組状況にも大きく差がある。

（「防災」・「子育て支援」の分野は半数以上の自治体が外国人に関する取組を実施していたが、「高齢者福祉」・「留学生」は取り組んでいる自治体が少ない。）

3. 外国人が活躍できる多摩・島しょ地域をつくるための課題と取組

外国人が活躍できる地域づくりのために、活躍が期待できる場面・役割と、活躍を促す上での問題・課題を整理しました。これらの問題・課題を解消する第一歩として、「外国人との接点づくり」が重要です。そのため、「外国人との接点づくり」において、取組の方向性と具体策をまとめました。その上で、各市町村が特に優先的に実施すべき取組を抽出するため、連携できる人材や団体・組織の多寡を軸とした地域分類を設定し、提示しました。

【外国人との接点づくりに向けた自治体の取組】

- ① 知る・理解を深める（地域の実態把握、日本人住民の理解醸成、外国人住民の理解醸成）
- ② 広める・交流する（地域活動に対する外国人住民の参加促進、助け合える関係づくり）
- ③ 制度・仕組み化する（庁内の仕組みづくり、庁外の仕組みづくり）

【多文化共生施策検討のための地域分類】

		外国人地域資源		外国人住民が 少ない
		多い	少ない	
日本人 地域資源	多い	地域分類1： 日本人地域資源・外国人地域資源ともに多い地域 優先的に実施すべき取組 ②広める・交流する ③制度・仕組み化する	地域分類2： 日本人地域資源は多いが、外国人地域資源が少ない地域 優先的に実施すべき取組 ①知る・理解を深める ②広める・交流する	地域分類5： 外国人住民がほとんどいない地域 優先的に実施すべき取組 ①知る・理解を深める ②広める・交流する
	少ない	地域分類3： 外国人地域資源は多いが日本人地域資源が少ない地域 優先的に実施すべき取組 ②広める・交流する ③制度・仕組み化する	地域分類4： 日本人地域資源も外国人地域資源も少ない地域 優先的に実施すべき取組 ①知る・理解を深める ②広める・交流する	



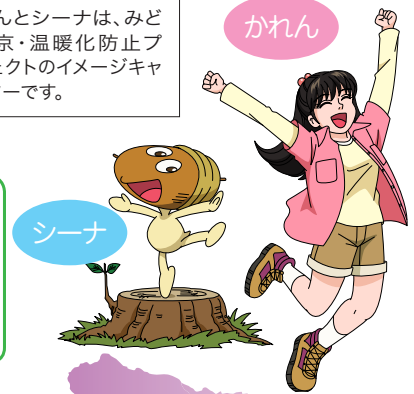
オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された事業を紹介します。

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。



① 清瀬市

きよせの環境・川まつり

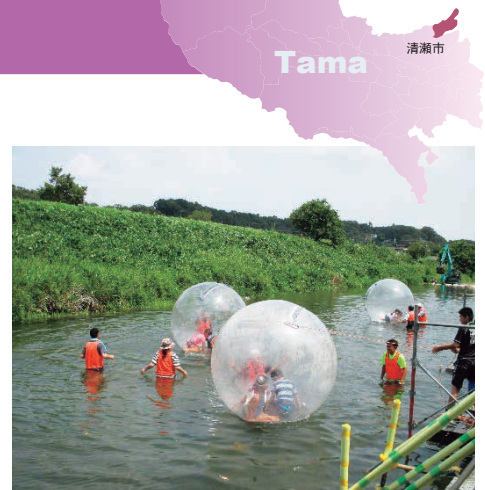
清瀬市では、環境の大切さを、「来て、見て、体験しよう」をテーマに市民と行政、事業者等の協働による環境イベント「きよせの環境・川まつり」を毎年7月に開催しています。

昨年は、7月21日（土）に柳瀬川河川区域及び台田運動公園で、環境保全に関するパネル展示、自然観察会、小型家電の臨時回収などを実施しました。会場では、各出展団体がスタンプラリーを通じて環境保全についての啓発を行い、約5,300人の来場者で大いに盛り上がりました。

また、川でのイベントでは、ウォーターバルーンを用いて川とふれあいながら、環境への関心を高めました。

今年度の「きよせの環境・川まつり」は、7月27日（土）に開催します。是非、お越しください。

【問合せ先】 清瀬市 水と緑の環境課 TEL 042-497-2099



② 東久留米市

小山茶園サポーターズクラブ事業

東久留米市の北部に広がる小山緑地保全地域は、荒川の支流である黒目川を南に見る台地上に位置する緑地で、古くから小山台遺跡として知られています。その一角にある茶畑は「小山茶園」として市民ボランティア団体により管理され、毎年美味しいお茶の葉が収穫されています。市の環境フェスティバル等、多くのイベントに「小山茶園サポーターズクラブ」として出展しており、保全地域での活動紹介やお茶の試飲を実施しています。クラブの参加者だけでなく、地域住民が環境保全や食文化への意識を持ってもらえるように、夏の草取り等地道な作業にも取り組んでいます。

【問合せ先】 東久留米市 生活文化課 TEL 042-470-7738



③ 御蔵島村

御蔵島小中学校校庭芝生再生事業

御蔵島村の小中学校の芝生校庭は、急峻な丘陵地域にある集落の中で唯一平坦な屋外運動場であり、年間を通して地域に開放しています。学校教育現場としてだけでなく、地域の公園としての役割も果たしています。

一方で、その集中的な利用により、芝生の部分的枯死、損傷が進行している状況にあります。損傷した芝生の土壌を分析し、張替や肥料散布を行うなど再生を図り、維持することで地元の住民や観光客の別に関わらずレクリエーションの場として喜ばれ続けるよう取り組んでいます。

【問合せ先】 御蔵島村 教育委員会事務局 TEL 04994-8-2121





ちよつと一息

とっておきの島しょの土産



三宅島



牛乳せんべい

牛乳せんべいは、三宅島の銘菓で、定番のお土産なんだ。原材料は小麦粉と牛乳、卵、バター、砂糖だけのシンプルなおせんべいだけど、素朴な味わいと後を引く美味しさで愛されているよ。



三宅島の

あしたばカレー

あしたばは、セリ科の多年草で「今日摘んでも明日には新しい芽が出る」といわれるほど成長が早く、生命力の強い植物なんだ。三宅島産の明日葉と数種のスパイスを使用していて、コクの中にも明日葉が香るスパイシーなカレーだよ。

今回紹介したお土産は、竹芝客船ターミナル内のアンテナショップ「東京愛らんど」(最寄駅はJR浜松町駅ほか)で販売しているから、ぜひ味わってみてね。東京愛らんどホームページ(<https://www.tokyoislands-net.jp/>)でも、通信販売しているよ。

【情報提供】公益財団法人 東京都島しょ振興公社 TEL 03-5472-6546

祝・「令和」最初の夏!
2つのサマーで運開き!

当せんのチャンス広がる

サマーチャンボミニ

5千万円

1等前後賞合わせて500万円
1等300万円
前後賞各100万円

サマーチャンボ

7億円

1等前後賞合わせて7億円
1等5億円
前後賞各1億円

近くに宝くじ売場がなくてもネットで購入できるよ!

宝くじ公式サイト

宝くじ公式サイト <https://www.takarakuji-official.jp/>

令和

この宝くじの収益金は、区市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

公益財団法人 東京都区市町村振興協会
2019年市町村振興宝くじ

7月2日(火)同時発売 各1枚 300円
発売期間 7月2日(火)~8月2日(金) 抽せん日 8月14日(水)



多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



2019年7月・8月開催予定の講座案内

185回

題名

薬は賢く選びましょう

日時 2019年7月11日(木) 14:30から約1時間

講師 加藤 哲太 氏

((一社)日本くすり教育研究所代表理事・元東京薬科大学教授)

内容 「医薬品医療機器等法」において、医薬品の適正使用や、これらの有効性及び安全性に関する知識と理解を深める努力が国民に義務づけられています。この講座では、高齢者への薬物投与について、服用が多い薬剤の使用・併用の留意点及び緩和医療に関する薬剤使用、さらに最近問題となっている薬剤耐性の拡大防止などを取り上げます。



- 受講料 無料 (ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室 (申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ (<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>) から無料で、当日の講座の視聴 (ライブ中継) や過去の講座を視聴 (VOD視聴) することができます。

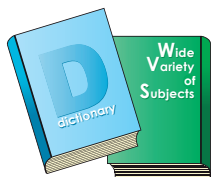
問合せ先 TEL070-2685-3602 (高原) TEL0422-52-0908 (菅原)

186回

日時 2019年8月8日(木) 14:30から約1時間

題名 開発技術者は悪人か?

講師 小西 義昭 氏 (KoPEL小西技術士ラボ代表・博士(工学)・技術士(機械部門)・(一社)ライフサポート学会顧問)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

2019年8月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は8月8日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1190回	8月1日(木) 14:00から	70歳からの シニア生活を考える	五十嵐 強 氏 (ファイナンシャルプランナー)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 商工会館3F)
第1191回 ※	8月8日(木) 14:30から	開発技術者は悪人か?	小西 義昭 氏 (KoPEL小西技術士ラボ代表・博士(工学)・技術士 (機械部門)・(一社)ライフサポート学会顧問)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター (JR三鷹駅北口 徒歩7分)
第1192回	8月15日(木) 14:00から	新宿中村屋 ^{そうまごっこ} 相馬黒光の肖像	濱口 晴彦 氏 (早稲田大学名誉教授)	小金井市前原暫定集会施設 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井市役所向い、商工会館隣)
第1193回	8月22日(木) 14:00から	社会福祉の主体は人	河 幹夫 氏 (神奈川県立保健福祉大学名誉教授)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)

☆申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。

※第1191回は、第186回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

問合せ先 TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第118回

初心者のための
“秩父観音巡礼” 10倍楽しむ旅の話

【講師】 服部 文晴 氏

昨年TAMA市民塾にて『西国・坂東・秩父百寺観音巡礼の旅』講座で講師を務めた。アクティブ未来工房を主宰し、「手作り『ご朱印帳』」などのイベントを生涯学習センター、カルチャーセンターなどで開催している。2017年西国三十三所札所委員会「先達者」資格を授与される。

【内容】 昔から巡礼は「男は坂東、女は秩父」といわれてきました。近さや経済的なことで秩父が好まれたのでしょうか。どうやら秩父は、それ以外にも多くの老若男女を引き付ける憧れの聖地でもあったようです。

- 1) なぜ、秩父が「百観音霊場」に選ばれたのでしょうか
- 2) どうして、秩父は女性に人気があったのでしょうか
- 3) そして、今こそ“秩父巡礼”にあつい想いを！

小さなお堂、無数のお地藏さま、小川のせせらぎ、草木がなびく巡礼古道はまさに心の修行の道ともいえます。「いつかきつと」秩父巡礼をする人のために、楽しめるお勧め講座です。

日時 2019年7月21日(日)
14:00~16:00
場所 多摩交流センター会議室
府中駅北第2庁舎6F(府中市寿町1-5-1)(京王線 府中駅北口下車 徒歩5分)※駐車場はありません。ご注意ください。
申込方法 当日会場にお越しください
先着50名までとさせていただきます
受講料 無料
問合せ先 多摩交流センター内 TAMA市民塾
TEL 042-335-0111

「多摩交流センターだより」の問合せ先

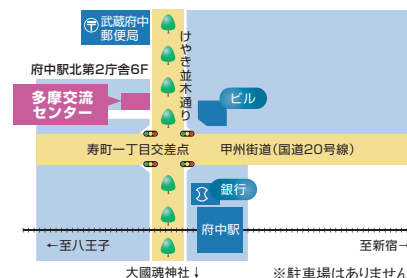
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 新しい時代も3月目となり、令和“初”の夏がやって来ました。

ぐるり39の表紙と最終面の「とっておきフォトスポット」は、夏季には東京の島しょ町村の美しい景色を掲載することが毎年恒例で、今月号は三宅島です。

この時期は、島の魅力を存分に味わえる絶好の季節です。皆さんも夏休みに是非、東京の島しょ地域を訪れてみて下さい。

- さて、2ページでお知らせしたとおり、当調査会は7月22日(月)に「府中市市民活動センタープラッツパルトホール」で調査研究結果発表シンポジウムを開催いたします。

今回のテーマは『持続可能なまちづくりを考える～地方創生×結婚支援～』です。是非、ご来場ください。

- 先日、このシンポジウムで基調講演を行う渥美氏の「働き方改革」に関する話を聞く機会がありました。別テーマですが、実は働き方改革と結婚は次のように大きく関わりがあるといえます。

『結婚』も『WLB(ワークライフバランス:働き方と生活)』も、個人にとっては家事、育児、介護などの面でリスクマネジメントとなります。

一方、企業においては、結婚は離職率を下げ職場に長く

定着する要因となり、WLBの推進は更にブランドイメージを上げるため、人材確保の観点から取り組む意義が高いそうです。

また、自治体でも結婚支援とWLBの推進は納税者としての将来にわたる人口確保や住民幸福度の向上、健康維持、地域活動への参加による地域の活性化につながります。

このように、両方とも個人、企業、自治体にとって重要な課題となっています。

- 東京は、全国的に見て所得が高く、若年人口の流入が続いているため、危機感が希薄であると言われていました。しかし、北陸のある県では、共働きで収入が安定している上に、住宅価格や教育費、物価も低いので、子ども2人を持つ世帯の家計を比べると、60歳までの収支差(黒字額)は東京より数千万円多いと試算しているそうです。

東京もうかうかしてられない状況です。

- 今月は、国政選挙も予定されており、来年に控えた東京五輪に向けて、交通量削減など様々な社会実験的な取組が行われるなど、例年と勝手が異なる忙しい夏季となりそうです。たまには都会の喧騒から離れて、夏季休暇でのんびりできる島しょ旅行を計画してみたいかがでしようか。(M.N)

とっておきフォトスポット

第19回 三宅村

きれいな景色やおもしろいものを見つけたら、写真を撮りたくなるよね。

今回はわたげのボクが「七島展望台」と「サタドー岬」を紹介するよ。



七島展望台

@WATAGE



雄山おやまの中腹付近にある展望台だよ。天気の良い日には、北は大島から南は八丈島まで、伊豆諸島の島々を一望することができるんだ。

毎年行われるエンデューロレース（バイクレース）のコースにもなっているよ。



サタドー岬

@WATAGE



海面から約20mの高さでそびえる絶壁の岬だよ。流れ出た溶岩と火山弾を見ることができるんだ。

ここに立つ純白の無人灯台（サタドー岬灯台）は、1954年（昭和29年）に初点灯されたんだって。

三宅島で海ガメがよく見られるポイントのひとつでもあるんだ。

【現地案内】

◎三宅島へのアクセス

《航路》

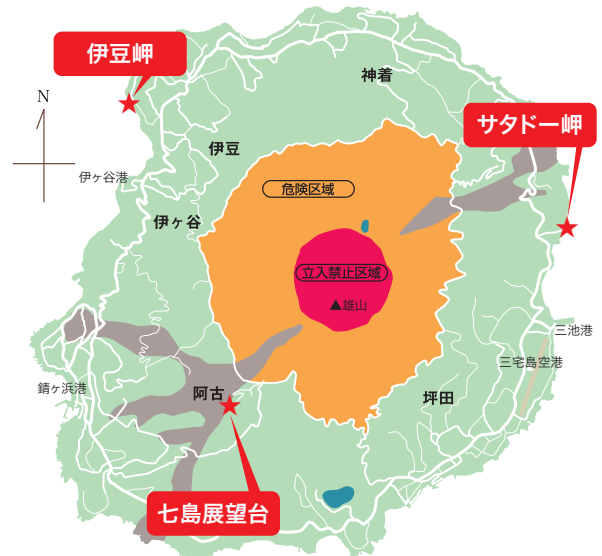
竹芝桟橋から大型客船で
約6時間30分

《空路》

調布飛行場から約50分

【情報・写真提供】

三宅村企画財政課
TEL 04994-5-0984
三宅島観光協会
TEL 04994-5-1144



写真を撮るときは、周囲の状況をよく確認し、柵を越えたり立ち入り禁止区域に入ったりするなど、マナー違反にならないようにね!

【発行日】2019年7月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】小暮 実

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。